

令和8年度学校経営構想



鍛えて、ほめて、伸ばす！
子どもの可能性

<p>公教育の立場</p> <p>日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、国、県、市の学校教育施策等、鍛ほめ福岡メソッド、福岡県人権教育推進プラン、嘉麻市教育基本条例、第6次嘉麻市教育アクションプラン</p>	<p>学校の教育目標</p> <p>～われら山中～ 主体的な学びによる確かな学力、自律の精神を身につけ、よりよい未来を創造する生徒の育成</p>	<p>児童生徒、地域の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るく、素直な生徒 ・固定化した人間関係 ・自ら課題発見・解決する姿勢 ・学力の低位層が厚い ・基本的生活習慣に課題 ・保護者地域の教育力の格差
<p>目指す教師像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に学び続ける意思を持ち、日々の授業で勝負できる教師 ・人権尊重の理念を認識し、児童生徒理解に努め、実践的指導力を磨く教職員 ・コミュニケーションを大切に、協働してよりよい学校や地域社会を築こうとする教職員 ・子どもや保護者、地域から信頼される教職員 	<p>目指す児童生徒像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力の定着に努める生徒 ・自らの課題を自覚し、解決できる(知識・技能) ・自ら主体的に考え、協働的に学び、考えを深める生徒(思考力・判断力・表現力) ・自他を大切に、自律する力(見通す力・挑戦する力・自立)を高めた生徒(学びに向かう力・人間力) 	<p>目指す学校像</p> <p>～生徒・保護者・地域・職員にとって魅力ある学校～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化予測困難な時代を生きる生徒を育てる学校 ・学力の保障、進路実現ができる学校 ・人権尊重の視点に立った学校 ・保護者・地域と共に創る、開かれた信頼される学校 ・職員が職務に誇りを持ち職務を遂行する学校

<p>教育課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力の向上(基礎基本と思考力・判断力・表現力の向上・学びに向かう力の育成) ・人権意識・規範意識の醸成(自己指導能力の育成) ・不登校の未然防止と解消(学びの共同化を育む人間関係調整力の育成)
<p>重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学力の向上(基礎・基本の定着と「わかる喜び」「できる喜び」「学び続けることへの意欲」を高める授業の工夫) ○不登校の解消:人間力の育成(自己肯定感、自己効力感、自律心の育成、人権尊重の理念を基礎とした温かな人間関係づくりを育む積極的生徒指導)
<p>教育課程編成の基本方針</p> <p>授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ・短期間での検証 ・拡充 [対話、自己選択・自己決定、リトライの場] ・充実 [ふるさと学習・キャリア教育] ・県及び市の加配教員の活用

<p>経営課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の学校経営参画意識の高揚(チーム山中の強化・組織の機能化) ・実践的指導力の向上(授業力・経営力・生徒指導力・対応力) ・小中の連携強化と保護者、地域、関係機関との信頼構築と連携
<p>経営の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> 【組織運営に関すること】 ・職員一人一人の資質・能力と組織力の向上に向けた体制の構築 【教育課程に関すること】 ・学力向上プランに基づいた教育活動の充実 【研修に関すること】 ・ICT活用指導力の向上(個別最適な学び・協働的な学びづくり) ・主題研修による力量向上および不祥事防止の徹底 ・客観的データ検証による学力向上プランの具現化

<p>学力向上プラン全体計画</p>
<p>各学年で目指す学力</p> <p>※学習規律のスタンダード・授業のグランドデザインの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科 言葉と言葉の関係やその意味、働き、使い方等に注目しながら叙述や描写をもとに、自分の思いや考えを確かにもち、表現することができる。 ・社会科 社会的事象への関心、様々な資料を基に自ら考え物事を多面的多角的に判断できる力と考えを表現することができる。 ・数学科 数量や図形の性質に着目し、論理的、統一的・発展的に考察し、表現することができる。 ・理科 観察、実験の結果から分かったことや得られた事実を科学的に分析し、その結果をもとに考察して事物・現象を説明することができる。 ・音楽科 音楽を形づくっている要素とその働きや音楽のもつ背景をもとに、自分のイメージや感情と関連付けて自分の思いを説明することができる。 ・美術科 自分の作品の主題を自らが強く表現したい思いや考えに基づいて説明することができる。 ・保健体育科 生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力及び健やかな心身を育成する。 ・技術・家庭科 (技術)生活や社会を支える技術の利点と問題点を見だし、仕組みや関係する科学的な原理・法則をもとに自分なりの解決策を説明することができる。 (家庭)生活の課題を見だし、協力・協働をもとに解決・改善の方法を具体的に説明することができる。 ・外国語科 情報を整理し、自分が伝えたいことや考えたこと、感じたことをもとに、英語で表現したり、伝え合ったりすることができる。

<p>校務運営の重点</p>
<p>教務運営の重点</p> <p>各部の重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教務部 <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマネジメントの視点、合理的配慮を踏まえた教育活動の質的改善 ・郷土を愛する心の育成を図る地域との連携事業の活性化 ・コミュニケーション力や自己有用感を高めるため異学年交流の実施 ・学習指導要領全面実施下における適切な評価の実施 ○ キャリア教育部 <ul style="list-style-type: none"> ・系統的なキャリア教育の推進 ・社会的、職業的自立に向けた基礎的・汎用的能力の育成 ・キャリアパスポートの有効活用 ○ 生徒指導部 <ul style="list-style-type: none"> ・積極的生徒指導による、規範意識を基盤とした魅力ある学校生活の充実 ・教職員の共通理解・共通認識による組織的な協働実践 ・生徒の自治活動の活性化 ○ 研修部 <ul style="list-style-type: none"> ・主題研究に基づく校内研修の計画的な実施と日常的な授業研究の展開 ・本校の教育課題、経営課題に応じた研修計画と実施 ・学力向上に関わる授業改善をはじめとした組織的な取組の実施校内研修推進体制の充実と教員の指導力向上 ・職員研修の充実 ○ 生徒支援部 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携強化と生徒の社会的自立に向けた支援の充実 ・考え議論する道徳授業の推進 ・特別支援コーディネーターを核とする支援体制の推進 ○ 健康・安全教育部 <ul style="list-style-type: none"> ・自他の生命の尊重及び健康・安全指導の徹底 ○ 庶務部 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の安心安全な学校生活につながる教育環境整備を行う。 ★地域連携部 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクールの推進
<p>各係の重点目標</p>
<p>学年経営の重点</p>